

チェックしましょう 認知症が疑われるサイン

以下のチェックリストを参考に「認知症かもしれない」というサインに早めに気づき、高齢者相談支援センターなどに相談しましょう。

認知症による変化は、本人よりも周囲の人が気づきやすいことも多いので、身近な家族などが一緒にチェックしましょう。



初期症状をチェック!

- 同じことを言ったり聞いたりする
- 物の名前が出てこなくなった
- 置き忘れやしまい忘れが目立ってきた
- 以前はあった関心や興味が失われた
- だらしくなった
- 日課をしなくなった
- 時間や場所の感覚が不確かになった
- 慣れた所で道に迷った
- 財布などを盗まれたという
- ささいなことで怒りっぽくなった
- 蛇口、ガス栓の締め忘れ、火の用心ができなくなった
- 複雑なテレビドラマが理解できない
- 夜中に急に起き出して騒いだ

このチェックはあくまで目安ですので、認知症の診断をするものではありません。
複数該当する方は、医療機関を受診しましょう。

出典：「認知症チェックリスト 早期発見・早期対応に向けて 自分・家族で気づくヒント集」(リーフレット)
愛知県・国立長寿医療研究センター作成 (2017年3月第二版発行)

ご相談・ご連絡は 大府市高齢者相談支援センター

●大府市高齢者相談支援センター●

大府市江端町六丁目13番地1 (ふれ愛サポートセンター内)

☎0562-45-5455 (担当地区: 共和西、共長、吉田、石ヶ瀬)

●大府市高齢者相談支援センター東分室●

大府市東新町一丁目219番地 (大府市社会福祉協議会内)

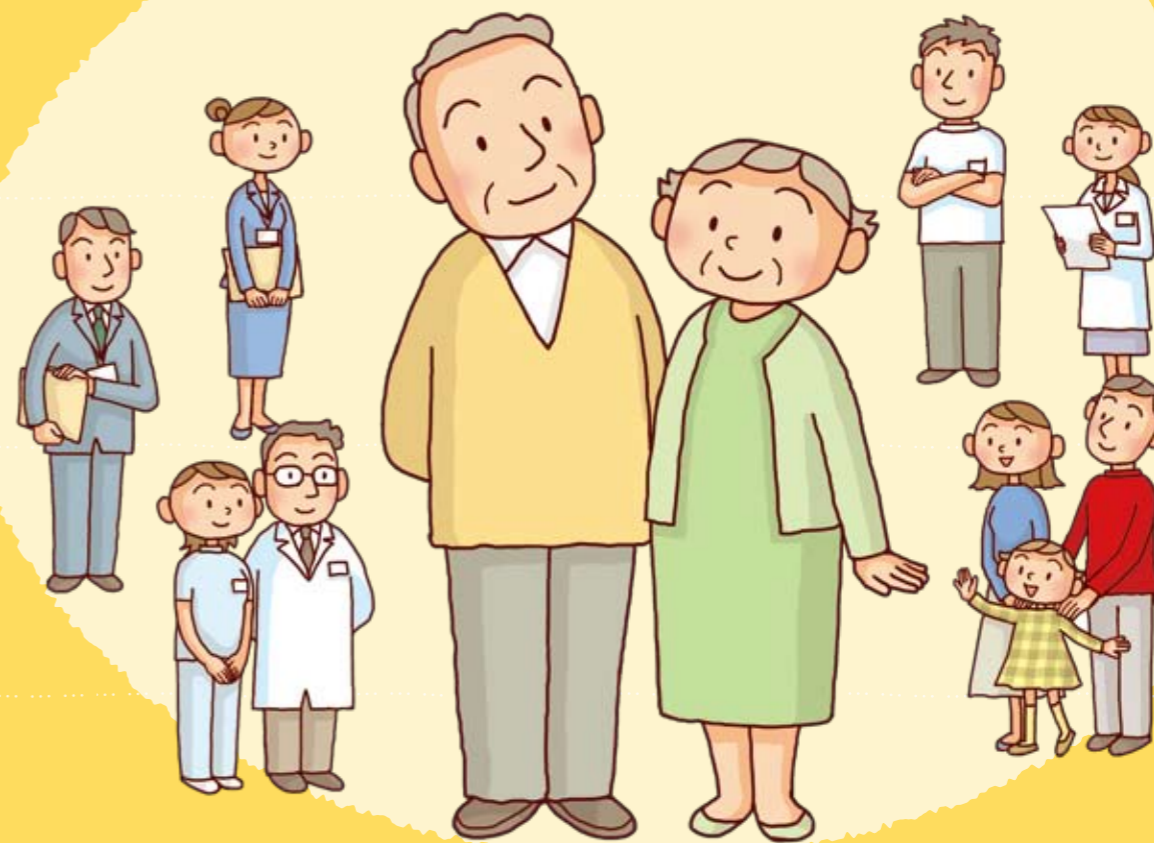
☎0562-48-1051 (担当地区: 大府、神田、北山、東山、大東)

平日 月曜～金曜 午前8時30分～午後5時 (年末年始は休み)

発行 大府市 高齢障がい支援課 ☎45-6289 (直通)

認知症に関する困りごと・心配ごとに対応

認知症 初期集中支援チーム をご存じですか?



認知症初期集中支援チームとは

認知症初期集中支援チームは、認知症の人や認知症の疑いのある人、あるいはその家族のもとに訪問して、認知症についての相談に対応する、認知症の専門家たちによって構成されたチームです。

認知症は誰もがなる可能性のある病気であり、早めの対応が重要です。ひとりで抱え込まず、まずは高齢者相談支援センターにご相談ください。

認知症に関わる困りごと・心配ごとに対応します

認知症初期集中支援チームって どんなことをするの？

在宅の認知症またはその疑いのある方及びご家族を訪問し、受診勧奨や家族サポート等の初期支援を包括的・集中的に行います。



対象となる人は？

40歳以上の自宅で生活している認知症の人や認知症が疑われる人で、

- ◎認知症の診断を受けていない人や治療を中断している人
- ◎適切な医療サービスや介護サービスを受けていない人
- ◎医療サービスや介護サービスを利用していても症状が悪化して対応に悩んでいる人

などが対象となります。



チーム員は どんな人たちなの？

医療、福祉、介護の専門家たちによって構成されています。

- 医師 ●保健師 ●看護師
- 作業療法士 ●精神保健福祉士
- 介護福祉士 ●社会福祉士
- 高齢者相談支援センター職員 など



どうして「早めの対応」が 必要なの？

認知症は治る病気ではありませんが、早期に発見して適切な対応をすれば、その人らしい充実した暮らしを続けることができます。

◎治る病気や一時的な症状の場合があります

認知症の原因となる病気には、早めに治療すれば改善が可能なものがあります。

[正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、ビタミンB群欠乏症、脳腫瘍 等]

◎進行を遅らせることが可能な場合があります

原因となる病気によって、治療方法が異なります。適切な治療を受けることによって、進行を遅らせることができる場合があります。

◎今後の生活の準備をすることができます

早期診断を受け、症状が軽いうちにご本人やご家族が認知症への理解を深め、病気と向き合い話し合うことで、介護サービスの利用や治療を受ける場合の確認など、今後の生活の備えができ、自分らしい生き方をまっとうすることができます。



相談から支援までの流れ

高齢者相談支援センターに相談



初回家庭訪問

チーム員複数名（2～3人）で訪問します。
困りごと・心配ごとについて具体的にお話を聞きます。



チーム員会議

本人や家族の状態に合わせて、支援方針を検討します。



初期集中支援の実施

支援方針に沿った具体的な支援を行います（おおむね6ヶ月）。

- ・適切な医療につなげる
- ・本人の状態に合ったサービス、居場所、相談先等につなげる（介護サービス、認知症カフェ、見守りネットワーク等）
- ・介護者の負担軽減に関する支援など



医療やケアマネジャーなどへの引き継ぎ・支援



「自分が認知症かもしれない」という不安はとても大きなものです。家族など周囲が受診をすすめても、なかなか本人は踏み出せないこともあります。そんなとき、まずは家族の方が高齢者相談支援センターに相談し、アドバイスを受けることもできます。

